



「おおきくなるね」

もうすぐ卒園するゆりさんと、「〇〇ちゃんはおかちゃんのと看、いっぱい泣いてたよ。」「〇〇ちゃんはおだこがだいすきやったなあ。」とお話しているとき、ばらさん・さくらさん・すみれさんも「ねえねえ、〇〇ちゃんはどうやった？」と興味津々。みんながおかちゃんだったときのお話を楽しみました。ゆりさんが卒園すると、次はばらさんがゆりさんです。さくらさん・すみれさんも一つ大きくなります。どんな〇〇ぐみさんになりたいか、何をがんばりたいか聞くと、「かっこよくなる!」「ぬいさしががんばる!」「なわとびとべるようになる!」「おてつだいする!」など、たくさんお返事してくれました。自分より大きいお友だちのしていることに興味を持ち、頑張ると言ってくれる子どもたちの姿に成長を感じ、嬉しく思います。

3月11日におわかれ会があります。さかなグループは歌と合奏の発表をすることになりました。みんなで曲を決めるところから始まり、今は楽器を決めたり振り付けを考え練習を楽しんでいますよ!



「もうすぐ1年生!」~ゆりぐみ~

「どんなゆりさんになりたい?」と言って子どもたちと話し合った春。あれからもうすぐ1年が経とうとしています。「かっこいいゆりさんになる!」と言って色々なことに挑戦し、園で一番大きくなったことを感じながら過ごしてきました。秋には就学時検診でそれぞれの小学校に行く機会がありました。そのあとに「どんな1年生になりたい?」と聞くと、期待でワクワクする気持ち、ちょっぴりどきどきする気持ちを話してくれました。子どもたちの心にはいつでも頑張りたい気持ちがあります。しかし、自信の無さから頑張りたい気持ちを持続させることができないときもありました。そんなときには一度立ち止まり、自分がどうしたいのかを考え、そのためにはどうするのかを自分で決めて次に進めるように、私たち保育者は「ゆりさん」として求めてきました。がんばれたこと、がんばれなかったこと、失敗したこと、うまくいったこと、くやしかったこと、嬉しかったこと…。こうして経験したこと・感じたことは子どもたちの力になって、自信につながっていくと思います。

お相手さんや保育者のお手伝いをしてくれる姿は頼もしく、「ありがとう」と言うと、照れくさそうに「どういたしまして!」という姿はかわいくて心を温めてくれます。「やればできる」「みんなならできる!」自信をもって1年生になってください。

残りの園生活も、お友だちやお相手さん保育者と一緒に、ゆりさんらしく楽しく過ごしていきたいと思っています。

「ゆりさん、ありがとう!」

4月からずっと一緒にいて、ばらさんはベツ運びやテーブル拭き、お当番を教えてもらったり、すみれさんとさくらさんにはお手伝いをしてくれた大好きなゆりさんに『ありがとう』の気持ちを込めてプレゼントを作っています。すみれさんは、紙粘土を使って、さくらさんははさみ切りや色塗り、ばらさんはぬいさしや色塗りで作っていきます。「喜んでくれるかな」「好きな色は何かな」と話しながら作っていきます。

また、お別れ会で歌う歌も練習しています。歌っていると淋しくなって悲しい気持ちになっているお友だちもいますが、残り1ヶ月ゆりさんと一緒に笑顔いっぱいの思い出を作りたいと思います。

